

世界遺産登録推進NEWS

国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2016(平成28)年5月特別号 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1193

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



国立西洋美術館 世界遺産「登録」勧告 —7月の世界遺産登録へ大きく前進！—

平成28年5月17日(火曜日)、フランスを代表国とし、日本を含む7カ国(※)で世界文化遺産へ共同推薦を行っている「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」(国立西洋美術館が含まれる)について、世界遺産委員会の諮問機関である国際記念物遺跡会議(イコモス)により、「記載」との勧告がユネスコ世界遺産センターより通知されました。

※7カ国(フランス、日本、ドイツ、スイス、ベルギー、アルゼンチン、インド)

本推薦は国立西洋美術館を含む17資産を一括して世界遺産に登録しようとするものです。

この勧告を受け、7月10日~20日にトルコ・イスタンブールで開催される第40回世界遺産委員会で、最終的な記載の可否が決定されます。



国立西洋美術館 外観

©国立西洋美術館

■イコモスの評価結果及び勧告内容

〈要旨〉「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」について、イコモスの評価結果が示され、「**記載**」が適当との勧告がなされました。

(参考)諮問機関による評価結果の4つの区分

区分	内容
1 記載	世界遺産一覧表(リスト)に登録(記載)するもの。
2 情報照会	追加情報の提出を求めた上で次回以降に再審議するもの。
3 記載延期	より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの。推薦書の再提出後、再度、諮問機関の審査を受ける必要がある。
4 不記載	記載にふさわしくないもの。再度推薦することは、例外的な場合を除き、認められない。

〈勧告の概要 国立西洋美術館について(一部分)〉 (文化庁報道発表資料より一部抜粋)

- 耐震対策がしっかりとされている。
- 緩衝地帯内外で何らかの開発事業が行われる場合には、眺望の観点からの影響評価が重要。
- 特に国立西洋美術館については、世界遺産登録を強く支持するなど、地元コミュニティの積極的な参画が認められる。

登録推進 3 団体会長による『国立西洋美術館世界遺産「登録」勧告』 PR シートのお披露目を行いました

イコモスによる「記載」勧告を受けて、これまで登録推進活動を行ってきた「台東区国立西洋美術館世界遺産登録推進会議」、「台東区議会国立西洋美術館本館世界遺産登録推進議員連盟」、「国立西洋美術館世界遺産登録たいとう推進協議会」の3団体会長によるPRシート（ヨコ幅3m×タテ幅50cm）のお披露目を行いました。

日時 平成28年5月18日（水曜日）午前10時から10時30分

場所 台東区役所7階 議会第一会議室（台東区東上野4丁目5番6号）



PRシートを掲げる登録推進3団体会長



お披露目後、庁舎上野側玄関にPRシートを掲示する様子

写真中央：服部征夫 台東区長 写真左：太田雅久 台東区議会議長
写真右：石山和幸 国立西洋美術館世界遺産登録たいとう推進協議会会長

各登録推進団体会長あいさつ

台東区長 服部征夫（台東区国立西洋美術館世界遺産登録推進会議会長）



昨日はイコモスより7か国17資産のル・コルビュジエの建築作品が世界遺産に登録という勧告がなされました。私はこの勧告により今まで長い間進めてきた活動が世界遺産登録に向けて大きく前進をしたと、大変嬉しく思っています。登録が実現されれば、東京では初めての世界文化遺産となり、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、国際文化観光都市台東区の魅力を世界に発信できるいいチャンスと思っています。

7月10日からトルコのイスタンブールで開催される、第40回の世界遺産委員会で決定されます。今まで、台東区、台東区議会、民間の推進協議会が一体となって取り組んでまいりました。引き続きフランス政府、国、東京都、地域の皆様一体となって登録の実現に向けて最大限、努力をしてまいりたいと考えております。

台東区議会議長 太田雅久（台東区議会国立西洋美術館本館世界遺産登録推進議員連盟会長）



台東区議会は、西洋美術館の世界遺産登録に向けて議員連盟を立ち上げまして、議員一人一人が先頭に立って推進活動にまい進してまいりました。その活動が実を結んで、今回は最高の結果となったことは、我々としまでも感慨もひとしおでございます。これからも7月の世界遺産登録に向けて、区民の皆様、関係機関とともに推進活動を進めてまいりたいと思っております。宜しく申し上げます。

国立西洋美術館世界遺産登録たいとう推進協議会会長 石山和幸



私は、初めル・コルビュジエのことを知らずに、世界遺産に走り通して10年間、登録活動にまい進してまいりました。何としても、上野の文化ゾーンと台東区のまちをつなげたくて、ようやく10年間の活動が実ったのかなと思っています。安心したような、ほっとしたような気持ちです。これからも、まちと一体となって盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。